

# 令和8年度 第1回 安平町地域公共交通会議 議案

(兼 安平町地域公共交通協議会)

令和8年4月24日付け書面会議

～ 会議次第 ～

## 1 議 事

### 協議事項

- (1) 令和8年度 国土交通省補助金の申請について . . . . . P3～4

※4P以降は、国交省補助「交通空白解消タイプ」の申請書を参考として添付

## 1 議事 ～協議事項～

### (1) 令和8年度 国土交通省補助金の申請について

当町の地域公共交通の充実に向けて、令和8年度の各種事業を進めるにあたり、「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(交通空白解消タイプ)」補助金の申請を国土交通省に提出することについて承認を求めます。

#### 記

##### 1. 現在の状況

町内では、日曜や平日夜間に交通手段が運行していない交通空白時間帯が生じている。また、平日昼間は60代以上の高齢者層を中心に公共交通に対する需要が集中する一方、デマンドバスの便数不足やこれを補うハイヤー車輛の不足が懸念されている。

##### 2. 目的・趣旨

上記の現状を受け、休日・平日ともに生じている交通空白時間帯を解消するため、デマンドバスの効率的運行による利便性向上に向けた取組、及び、ハイヤー不足を補う公共ライドシェアの実証運行等を行う。

##### 3. 実施内容

###### (1) オンライン予約システム、配車・運行管理システムの開発、改良

- ・デマンドバスをはじめとした公共交通機関の予約、運行業務の効率化のため、AIを活用した予約システム、運行システムを開発し導入する。
- ・これらのシステムについては、昨年度ライドシェア実証の際に試作したが、一部、操作上の課題等があったことからこれを改善するとともに、デマンドバスにも転用できるように改良する。
- ・将来的には、ハイヤーやデマンドバス、公共ライドシェアで同じシステムの共通利用をめざす。

###### (2) ライドシェアの実証（第2回目）

- ・昨年度実施できなかった夏期シーズンにライドシェアの実証運行を行い、改めて利用者のニーズを把握する。
- ・昨年度の実証で課題となったライドシェアの自動音声予約システムの改良を検討する。

#### 4. 事業費

◆事業全体費用 7,420 千円

・地域公共交通協議会 会議経費	81 千円	}	補助対象経費 4,803 千円
・システム開発、導入費	2,759 千円		
・ドライバー募集、育成費用	155 千円		
・公共ライドシェア広告宣伝費	110 千円		
・公共ライドシェア運転手人件費	1,541 千円		
・公共ライドシェア燃料費	157 千円		
※ライドシェア運行管理業務経費	2,617 千円 (補助対象外経費)		

◆補助対象経費 4,803 千円

◆補助要望額 4,803 千円

#### 5. 申請内容

別添「公共ライドシェア・デマンドバス利便化増進に向けたシステム開発、及び実証事業」応募様式 1 を参照

#### 6. 申請者

安平町地域公共交通協議会

事業費

事業全体費用：7,420千円 補助対象経費：4,803千円

事業主体/運行主体

- ◇デマンドバスの利便性拡充 実施主体：安平町商工会 運行主体：追分ハイヤー
- ◇公共ライドシェア実証運行 運行主体：安平町、安平町地域公共交通協議会

事業背景・目的

・町内にはハイヤー、デマンドバスが運行しているが、限られた台数に対し平日昼間に需要が集中するため「予約・乗車ができない」実質的な交通空白が生じている。配車効率を高めて課題解消を図るため、予約の受付方法や乗合の行程組みにAIシステムを導入し、交通空白の解消を図る。

・また、当町は空港や主要駅に近接し、観光層が増える時期は町民利用と重複するため、この点での空白も解消すべく、夏季に公共ライドシェアの実証を実施する。

事業概要

交通サービス	デマンドバス / 公共ライドシェア
運行形態	区域運行
法的区分	道路運送法4条 / 同 78条2号
運行頻度	デマンドバス：平日（8時～17時） 公共ライドシェア：平日、土曜、日祝日（8時～21時の間）
運賃	デマンドバス：大人300円 子ども150円 公共ライドシェア：距離制運賃
実施内容	乗合型デマンドバスとハイヤー、公共ライドシェアの分担、共存により車輛不足を補うためオンライン予約や配車システムの構築による利便性向上や、過年度からのサービス拡充を踏まえた夏期公共ライドシェアの実証運行を行う。

運行期間

デマンドバス：通年  
公共ライドシェア：令和8年7月～9月予定

事業実施地域

地区名はふりがなも記入すること



「交通空白」地区名：安平町全域

◇デマンドバス  
町内の早来地区、追分地区で運行

◇公共ライドシェア実証運行  
安平町内の全域をカバーするよう運行。  
安平町を出発、及び安平町に着地のいずれもを対象とした区域運行。

事業イメージ



デマンドバス



公共ライドシェア

見込まれる事業効果

【定性・定量効果】予約システムや配車システムの試行により、町内早来地区デマンドバス利用者数は前年度30%増。また、公共ライドシェアは1日平均6～7件の利用を目指す。

【「交通空白」への効果】現状、町内早来地区のハイヤーでは予約重複により問合せの20～30%が乗車不可である状況のため、デマンドバスや公共ライドシェアの充実によりこれを半減させる。

事業実施体制

◆公共ライドシェア

[運行主体]※実証運行  
安平町  
安平町地域公共交通協議会  
[運行業務]  
町民ドライバーによる

業務委託

(有)追分ハイヤー  
配車、運行管理

NPO移動サービス  
ネットワーク北海道  
ドライバー養成

メディアネットCO.  
周知媒体の製作

◆デマンドバス

[実施主体]  
安平町商工会 ← 町が運営支援

業務委託

(有)追分ハイヤー  
運行業務  
配車、運行管理業務

予約・配車システムの  
開発改良  
将来的にシステムの  
一元化を視野

[実施主体]  
安平町地域公共交通  
協議会

業務委託

(株)CICAC  
システム開発

※下線項目は対象内経費として計上した経費